

輸送の安全向上のための優良な労働力（トラックドライバー）の確保対策について

トラックドライバー需給の予測

経済成長率が高い場合、輸送量の増加に伴い、必要ドライバー数が増加する一方で、ドライバーと他産業との賃金格差が拡大するためドライバー供給数は減少する。経済成長率が高くなれば、ドライバーの需給ギャップは拡大する結果となる。

標準ケースで推移した場合、2015年度では14.1万人のドライバー不足が発生するものと予測される。ローケースにおいては、ドライバー不足は発生しないという結果になっている。

標準ケースで不足する人数を2007年現在の約6万3千のトラック事業者数で平均化すると、一事業者当たり約2.3人不足することとなる。ただし、この数字は、労働力確保に対する取り組み効果を指標として計算に含んでいない数字であり、労働力確保への努力が何らなされなかった場合は、これだけ不足するという理論値である。

零細事業者の割合が多いトラック業界としては、決して低い負担率ではないと考えられるため、今後、トラック事業者、事業者団体、行政機関などが連携して、積極的な労働力確保対策の取組が望まれることとなる。

〈 国土交通省自動車交通局貨物課平成20年度9月報告書より抜粋 〉